



SOFT ADVANCE





## 目次

1.TwinBoard のセットアップ	1
1. 動作環境	1
2.TwinBoard Server のインストール	1
3.TwinBoard のインストール (クライアント PC)	2
4.TwinBoard のアンインストール	3
2.TwinBoard の初期設定	4
1. 組織図を作成する	4
2. 組織図を変更する	6
3. ドングルのドライバをインストールする	7
4. 推奨運用	9



# TwinBoard のセットアップ

TwinBoard をインストールする前に、お使いの OS が正しくセットアップされているか、必要なハードディスク空き容量、メモリが十分に確保されているかなどをご確認ください。

## 1. 動作環境

OS	Windows XP/Millennium Edition/98/95 2000(Service Pack4 以上)
CPU / メモリ	お使いの OS が推奨する環境以上
HDD 容量	サーバー 6.1MB 以上 クライアント 3.7MB 以上 (アプリケーションのインストールに使う容量) ◆お使いのハードディスクのフォーマット形式や確保容量、および保持するデータの容量により異なります。
その他	CD-ROM ドライブ、USB 端子 (インストール時) ◆TwinBoard を使用するには、ユーザーに PowerUser 以上の権限が必要です。

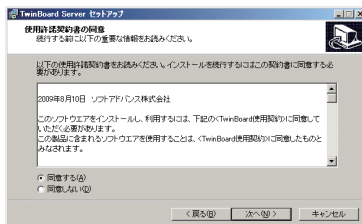
## 2.TwinBoard Server のインストール

- ① CD-ROM 内の [setup.exe] をダブルクリックしてください。

右図のインストール画面が表示されます。  
「次へ」をクリックしてください。



- ② 使用許諾契約書の内容をよくお読みいただき、ご同意いただける場合は「次へ」をクリックしてください。

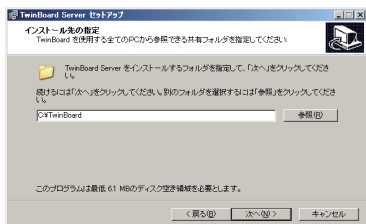


## 1 TwinBoard のセットアップ

- ③ TwinBoard Server をインストールするフォルダを指定します。

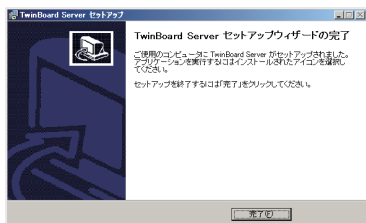
TwinBoard Server を使用する全ての PC から参照できる共有フォルダを指定してください。

次の画面でも再度インストールフォルダを確認し、[インストール]をクリックしてください。



- ④ インストールが完了すると右図のような画面が表示されます。[完了]をクリックしてインストール作業を終了してください。

③で指定した共有フォルダに [TwinBoard Server] が作成され、さらにフォルダ内に [Client]、[Data] というフォルダが作成されます。



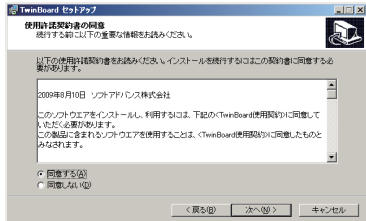
## 3. TwinBoard のインストール (クライアント PC)

- ◆ [Client] の [setup.exe] は、ローカル PC にコピーせずに行ってください。

- ① TwinBoard Server のインストールで作成された [TwinBoard]-[Client] フォルダ内の [Setup.exe] を実行します。  
インストール画面が表示されます。  
[次へ]をクリックしてください



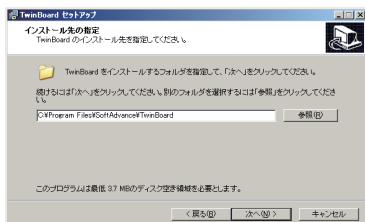
- ② 使用許諾契約書の内容をよくお読みいただき、ご同意いただける場合は [次へ] をクリックしてください。



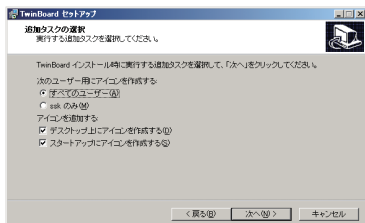
# 1 TwinBoard のセットアップ

- ③ TwinBoard をインストールするフォルダを指定します。

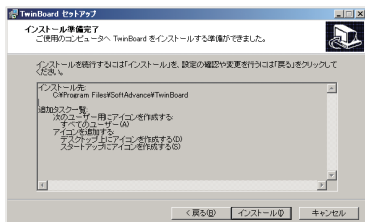
そのまま [次へ] をクリックしてください。  
(推奨)



- ④ すべてのユーザーで使用するか、現在のユーザーで使用するか選択します。  
デスクトップアイコン、スタートアップ登録も選択できます。



- ⑤ 設定内容を確認し、よければ [インストール] をクリックします。



- ⑥ これで TwinBoard のインストールは全て完了です。[完了] をクリックしてください。  
このとき [TwinBoard を実行する] にチェックを入れたまま [完了] をクリックすると、終了後直ちに TwinBoard が起動します。



## 4. TwinBoard のアンインストール

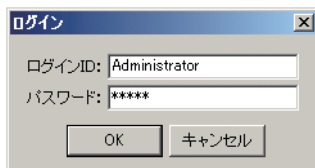
[コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除] からアンインストールしてください。

## 2 TwinBoard の初期設定

◆初期設定は、[体験版]では行うことができません。

組織図を作成または変更する際は、[Administrator] でログインしてください。

ログイン ID Administrator  
パスワード admin

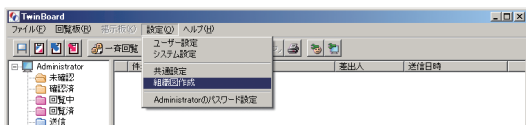


◆ Administrator でログインするときには USB 端子にdongleを接続してください。

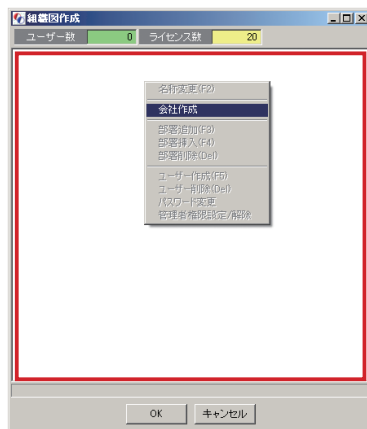
[3 ドングルのドライバをインストールする]を参照して、事前にドライバをインストールしてください。ログイン後、[設定メニュー]の [Administrator のパスワード設定] からパスワードを変更することをお勧めします。

### 1. 組織図を作成する

① [設定メニュー]の [組織図作成] からTwinBoardを使用する組織図を作成します。

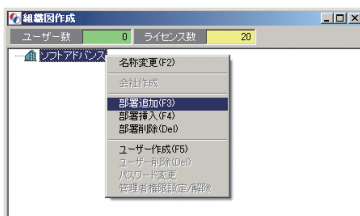


② □内で右クリックし会社作成を選択します。

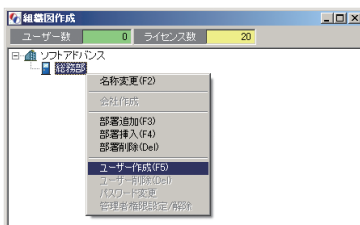


## 2 TwinBoard の初期設定

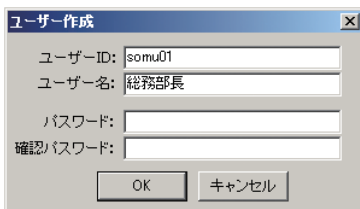
- ③作成した組織名上で右クリックし、[ 部署追加 ] を選択します。



- ④次に、作成した部署名上で右クリックし、[ ユーザー作成 ] を選択します。



- ⑤各項目を入力してユーザーを作成します。  
(パスワードの入力は任意です。)  
入力したら「OK」をクリックします。



以上の手順を繰り返すことで、部署、ユーザーを追加していきます。  
ユーザー数は組織図作成画面の上方「ライセンス数」の数まで作成できます。

## 2. 組織図を変更する

### 部署の変更

部署名の上で右クリックします。

### 名称変更

部署の名称を変更します。

### 部署の追加

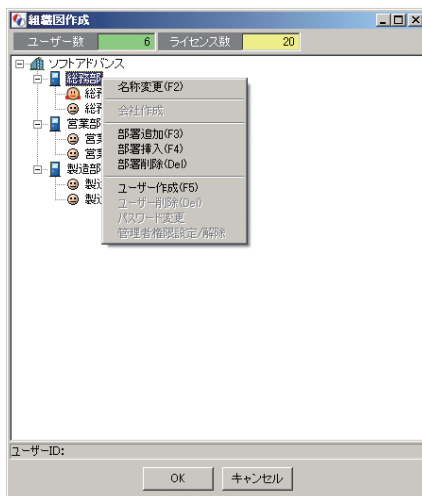
選択部署の下階層に部署を追加します。

### 部署の挿入

選択部署と同じ階層に部署を追加します。

### 部署の削除

選択部署を削除します。



### ユーザーの変更

ユーザー名の上で右クリックします。

### ユーザー削除

選択ユーザーを削除します。

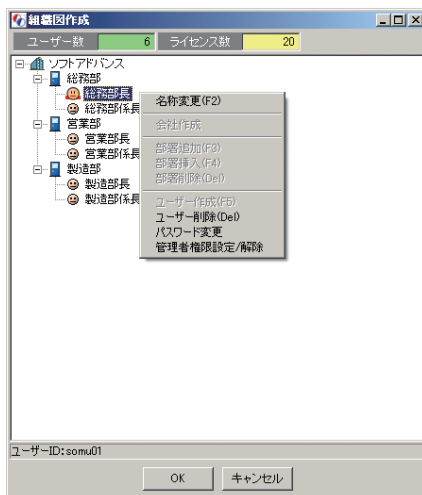
### パスワード変更

選択ユーザーのパスワードを変更します。

### 管理者権限設定 / 解除

掲示板を作成、バックアップできる権限を設定、または解除します。

ユーザーの部署が異動した場合などは、ユーザーをドラッグ & ドロップして部署を変更することが出来ます。





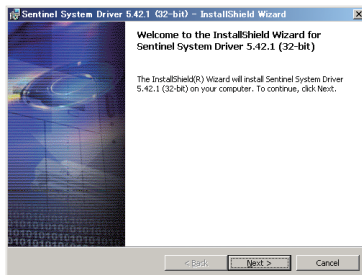
# 3

## dongleのドライバをインストールする

◆ドライバのインストールは、[体験版]では行うことができません。

Administrator でログインする前に dongleのドライバをインストールする必要があります。  
CD-ROM 内のフォルダ「SuperPro」の「setup.exe」を実行してください。

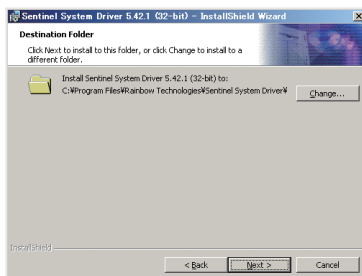
① [Next] をクリックしてください。



② [I accept the terms in the license agreement] を選択し、[Next] をクリックしてください。

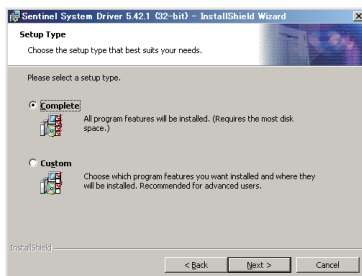


③ インストール先を選択し、[Next] をクリックしてください。通常はデフォルトのまま次にお進みください。

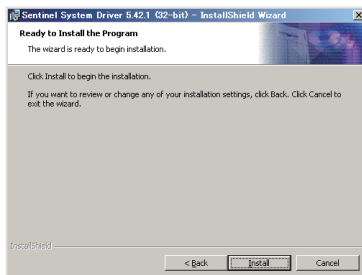


### 3 ドングルのドライバをインストールする

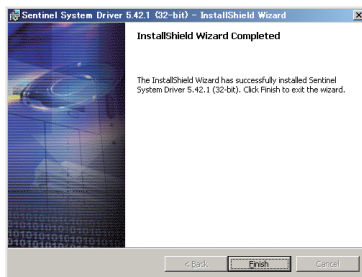
- ④ [Complete] を選択し、[Next] をクリックしてください。



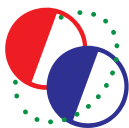
- ⑤ [Install] をクリックしてください。



- ⑥ これで dongle のドライバのインストールは完了しました。  
[Finish] をクリックしてインストールを終了してください。



- ◆ 閲覧板でファイルを添付し、宛先のユーザーにファイルに記入してもらう場合は、Excel ファイルを使用すると、Excel の共有機能を設定することにより、その Excel には、同時に入力することができます。  
(ファイルの同時入力は、サポートしていません)
- ◆ 事業所間での運用をしている場合、他の事業所のパソコンで閲覧板を受信したい場合は、そのパソコンで TwinBoard を起動し、ログインを行った後に、ユーザー設定で、[受信閲覧板をサーバーに残す]をチェックすることで、他の事業所のパソコンで受信しても、受信した閲覧版はサーバーから削除されません。  
自分の事業所に戻った後に受信すると、再度、同じ閲覧板を受信することができます。
- ◆ 掲示板を新規作成、削除した場合は、その後に、全社員に閲覧板を回して、掲示板が作成または削除されたことを通知します。  
これで、各社員は、閲覧板を見て、掲示板の参照設定を行います。
- ◆ 掲示板に書く場合は、新しい内容を最後に記述したほうが、分かりやすいです。  
また、必ず日付を挿入するという運用にすると、記入した時間と人が分かります。
- ◆ 管理者権限を持つユーザーは 1 人から 2 人くらいが望ましいです。  
権限を持つユーザーが増えると、勝手に削除される可能性があるためです。
- ◆ 組織図を作成する場合は、各社員のユーザー ID だけを決定し、パスワードは無しにします。  
そのユーザー ID を各社員に通知し、各社員は、通知されたユーザー ID でログインした後に、パスワードを変更します。
- ◆ 組織図を作成した後は、アプリケーションから組織図のバックアップを取るようにしたほうがいいです。  
その場合、組織図 (051001).dat というように、組織が変わった日付を付けておくと便利です。
- ◆ 管理者権限のあるユーザーの 1 人に、掲示板の定期バックアップ設定を行い、サーバーの掲示板データをローカルのパソコンにバックアップしておきます。  
システム担当者の方のパソコンにバックアップすることがお勧めです。
- ◆ TwinBoard のバックアップをする場合は、他のパソコン（サーバーなど）にユーザー名のフォルダを作成し、そこにバックアップすることをお勧めします。  
これにより、万が一、あるユーザーの PC が壊れても、他のパソコンにバックアップがあるため、再度、TwinBoard をインストール後、復旧機能により、データの復元が可能です。  
バックアップする場合は、定期バックアップがお勧めです。



S O F T   A D V A N C E

